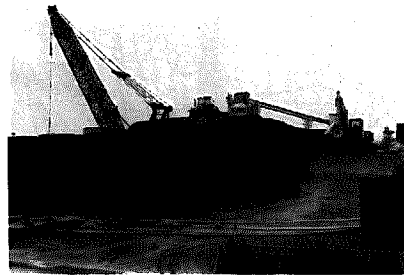
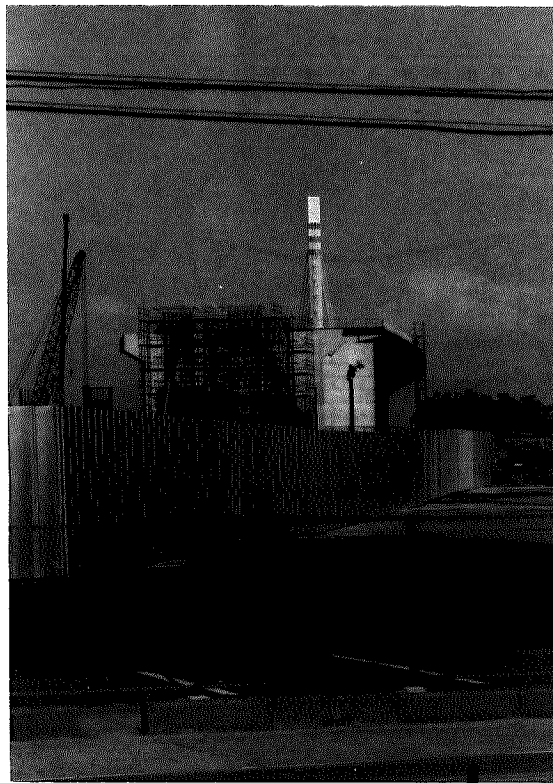




上空から見た西バイパスの様子(平成5年5月撮影)



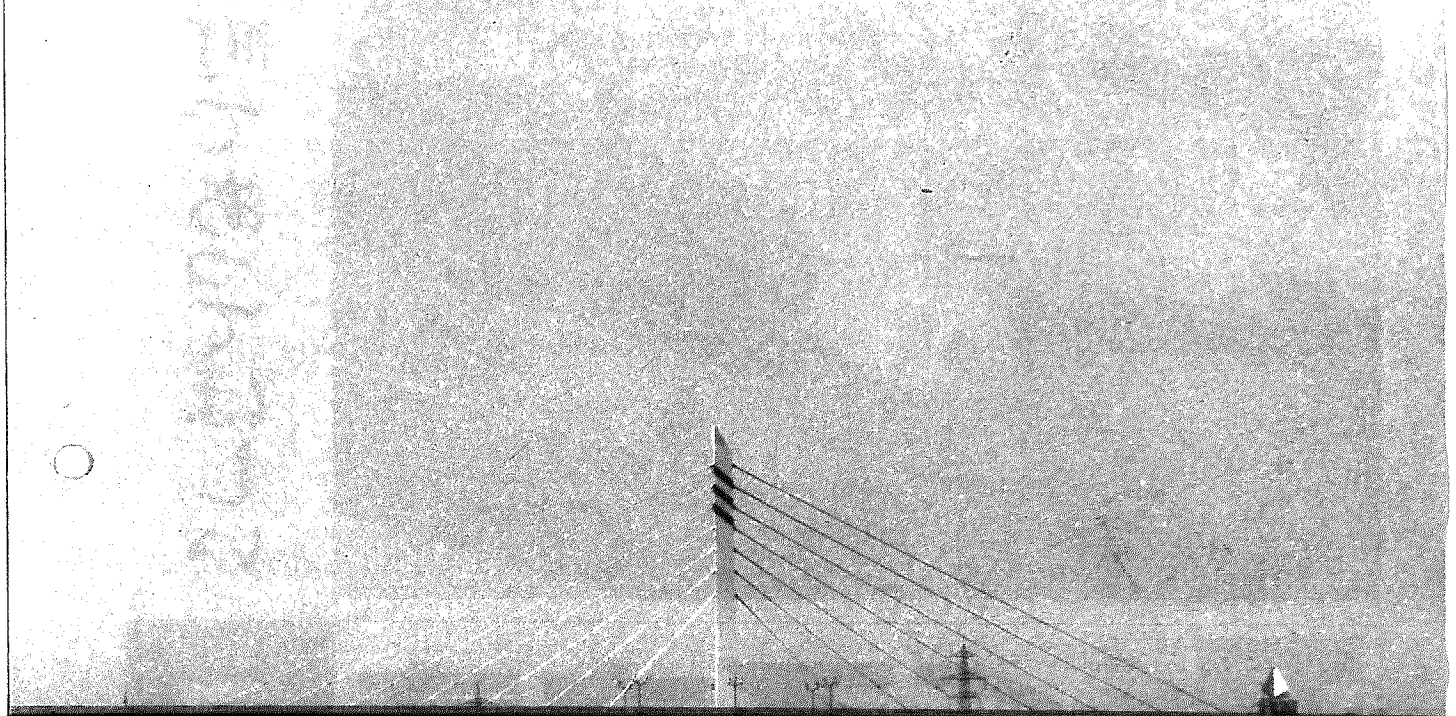
帝石橋も今年度完成の予定で工事は進んでいる。



北陸自動車道のときめき橋(愛称)も今年度中には完成

黒埼町の新しい顔

信濃川大橋から信濃川を下流方向に眺めると北陸自動車道のときめき橋が見える。黒埼町の新しい名勝だ。右側には新潟一のノッポビル、NEXT21が見える。



町が変わる

黒埼町に越して来た人は、一、二カ月ならわからないかもしれないが、一年もたてば、「変化の激しい街だな」と思うだろう。近所にスーパーマーケットが出来たり、水たまりの道路が舗装になったり、あるいは去年は鳴いていたヒバリの声が聞こえなくなったり、変化を感じさせてくれるのがこの町だ。
二年半前の広報くるさき一九九一年十二月号で書かれたとおり、黒埼町は変化の激しい町だ。そして、そのことはこれから変わらないうだろう。今月号では、黒埼町を変えてしまおうような大きな事業などについて紹介してみよう。

1 北陸自動車道の延伸工事進み、ときめき橋は五年度完成予定 道

町内国道を車で走っていると、新潟ふるさと村あたりで、橋の建設工事が進んでいるのが見られます。北陸自動車道のときめき橋です。

この橋は上越新幹線や新潟ふるさと村からも、よく眺められるため、美観を考慮して「一柱式斜張橋」という方式が採用されました。橋の工事を担当する日本道路公園が愛称を募集したところ、ときめき橋を上げた姿に似て、ここがときめく、と言うことで「ときめき橋」に愛称が決まりました。

工事は平成元年度から始まり、五年度に付帯工事含め完成予定です。

このときめき橋の工事も含んで行われる北陸自動車道の延伸工事は、新潟西インター(立込北陸自動車道・新バイパス・新潟西バイパスを結ぶ)から新潟市江口の新潟東インター(仮称)までの十三・一キロ、黒埼町二・一キロ、新潟市九・七キロ、亀田町一・三キロ)で行われます。新潟中央インター(仮称、新潟市鐘木)で東北横断自動車道いわき新潟線と結び、新潟亀田インター(仮称、亀田工業団地の北側)では国道四十九号線とつながります。また、新潟東インターからは、将来建設が予定されている日本海沿岸道東北自動車道につながるようになります。

現在、黒埼町内では、山田の国道八号線付近での工事が進められています。

新しい帝石橋も平成五年度完成の予定

信濃川にかかる帝石橋(県道新潟黒埼インター笹口線)は現在よりも下流に建造されています。延長二八九・八メートル、幅員三三メートル(うち歩道三・五メートル)、総工費は約七億円。昭和五六年に着工し、平成五年度中には四車線の橋として完成予定です。この工事は新潟土木事務所が行っています。

主要地方道(県道)新潟寺泊線は北陸自動車道料金所下から町道鳥原寺地線までの約八百メートルが平成二年度に完成。町道鳥原寺地線から善久の国道八号線までの区間の用地補償を現在先行中です。

町道では、鳥原寺地線が寺地西団地脇から立込までの改良工事が終わりました。鳥原寺地線の残り部分については、平成五年度以降に事業ができるように、準備しています。

国道八号線から新潟市道までを結ぶ町道山田立込二号線は、山田小学校わきから町道鳥原寺地線までの延長六〇二メートルの区間が、昭和六十三年から事業を開始しています。幅員は二・四メートル(車道七メートル、歩道が左右に二・